

〈レディブティック2024年初夏号掲載〉

リバティプリントの 折りたたみ日傘

使用するミシン・アタッチメント

4本糸ロックミシン
または3本糸ロックミシン(巻きロック対応)
直線ミシン

ミシンの設定は生地によって異なりますので、必ず試縫いをして調整して下さい。

材料

リバティタナローン	110cm幅	1.5m
折りたたみ傘骨(全長約cm)		1本
プラスチックスナップ(13mm)		1組
接着芯	9×9cm	
ウーリー糸		1本



<出来上がりサイズ>
長さ 約72cm(折33cm)
開いたときの直径 約84cm
親骨 50cm

【下準備】 天紙の裏面に接着芯を貼ります。

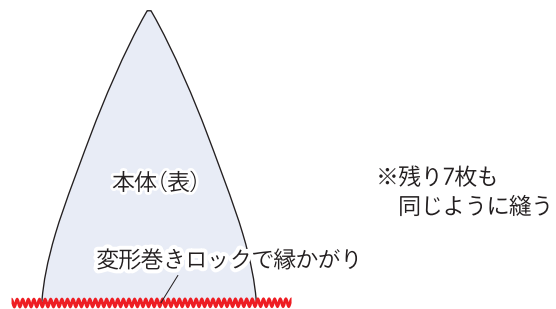
【注意】 巻きロックを縫うときは縫い代は切り落とさず、生地端の毛羽(ほつれた糸)だけメスでカットします。

1.生地端の始末

変形巻きロック	差動N	かがり幅M	送り目0.75
---------	-----	-------	---------

※上ルーバーにウーリー糸を使用

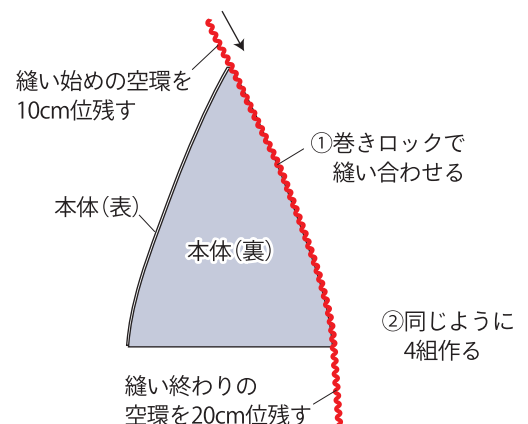
本体の三角の底辺部分を表側を上にして変形巻きロックで縫います。残り7枚も同じように縫います。



2.本体を縫い合わせる

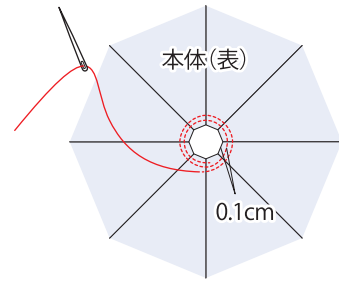
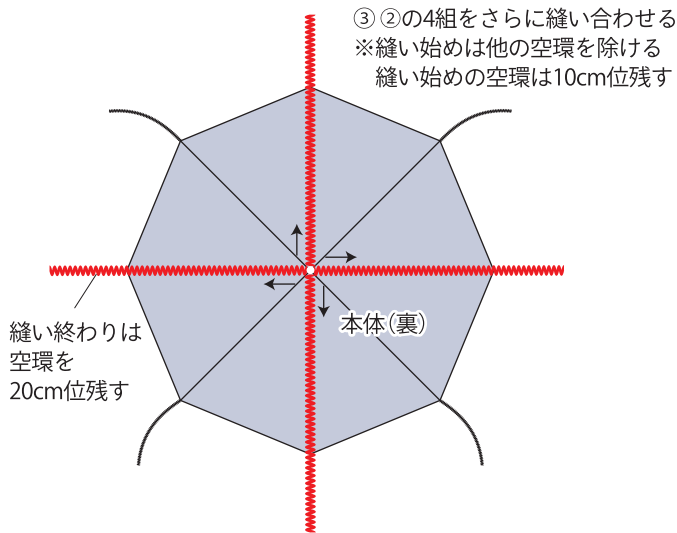
標準巻きロック(変形でも可)	差動1.3	かがり幅M	送り目0.75
----------------	-------	-------	---------

本体2枚を中表に合わせます。
頂点から巻きロックで縫い合わせます。
縫い始めの空環は10cmくらい、縫い終わりの空環は20cmくらいそれぞれ残しておきます。
4組作ります。



次にそれぞれを中表で縫い合わせます。**2.**の縫い始めの空環を縫いこまないように注意しましょう。この時も同じように縫い始めと縫い終わりの空環を残しておきます。

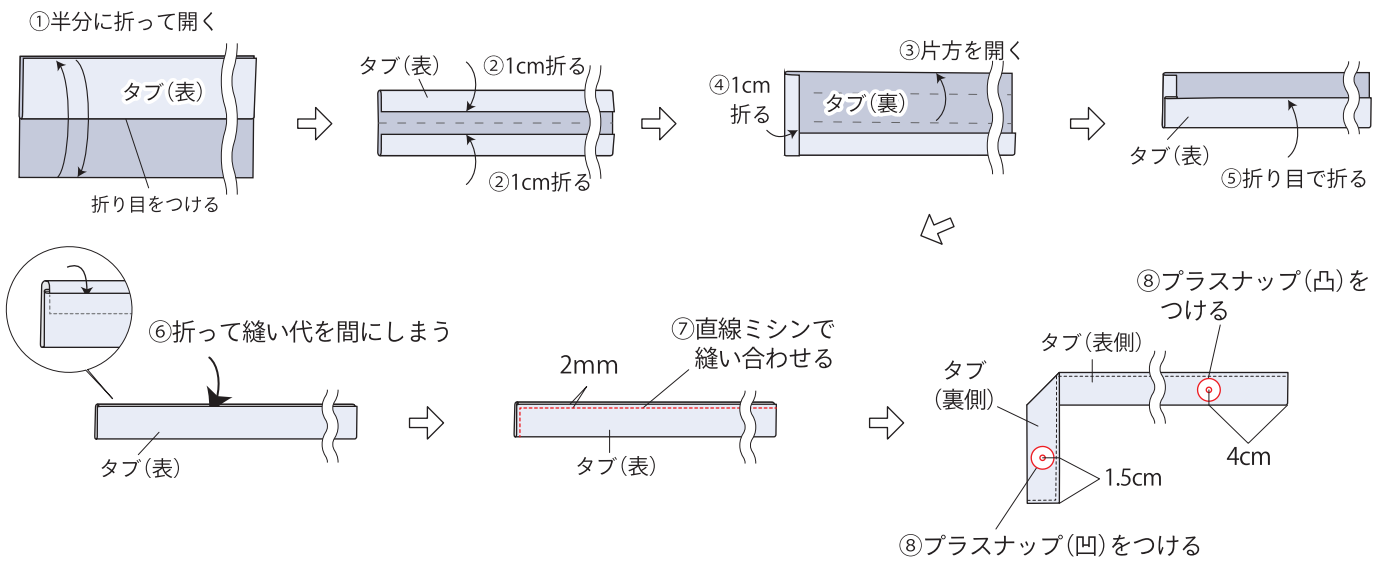
4組縫い合わせたら、本体の中心の周りを空環を除けながら2周ぐし縫いします。糸は切らずに長めに残しておきます。



④空環を除けながら中心の周りをぐし縫いで2周して糸を長めに残しておく

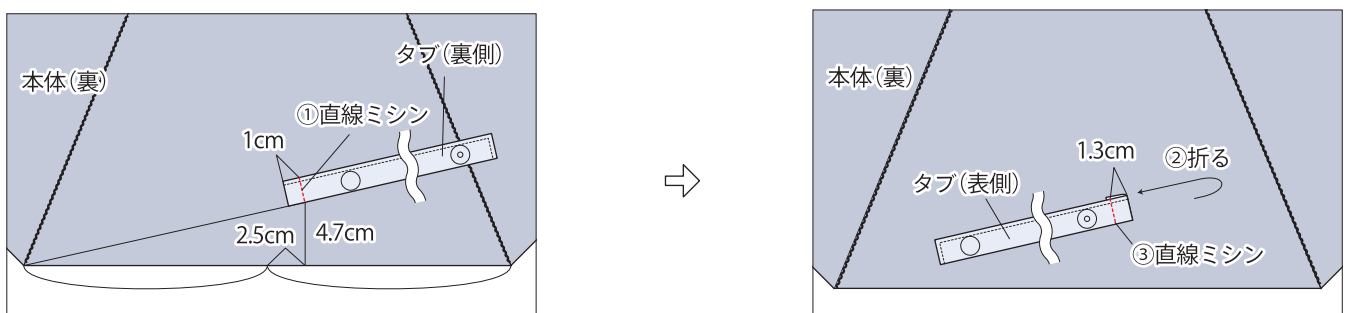
3. タブをつくる ※直線ミシン使用

タブを下図のように折って、直線ミシンで縫います。プラスナップを取り付けます。



4. 本体にタブを付ける ※直線ミシン使用

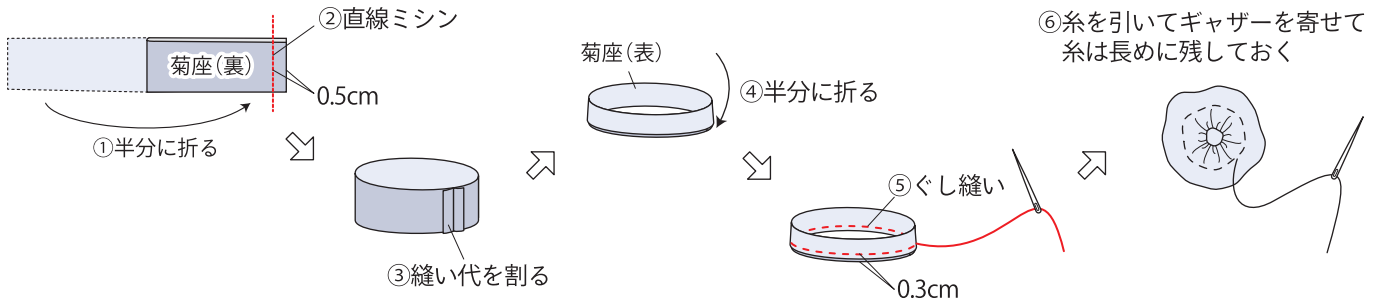
下図のように本体の裏面にタブを縫い付けます。



5. 菊座をつくる

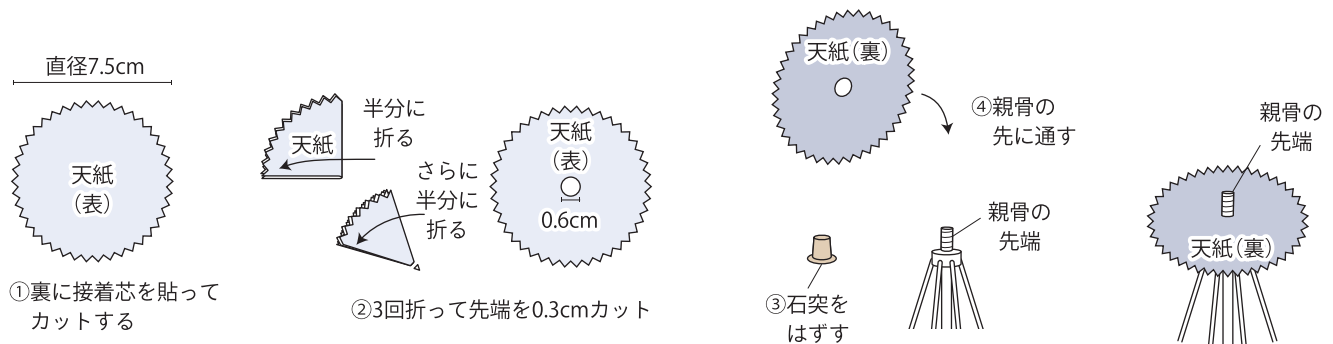
※直線ミシン使用

菊座を中表にして、端から0.5cmを縫い合わせます。縫い代を割ります。半分に折ります。生地端から0.3cmをぐし縫いでギャザーを寄せます。糸は長めに残しておきます。

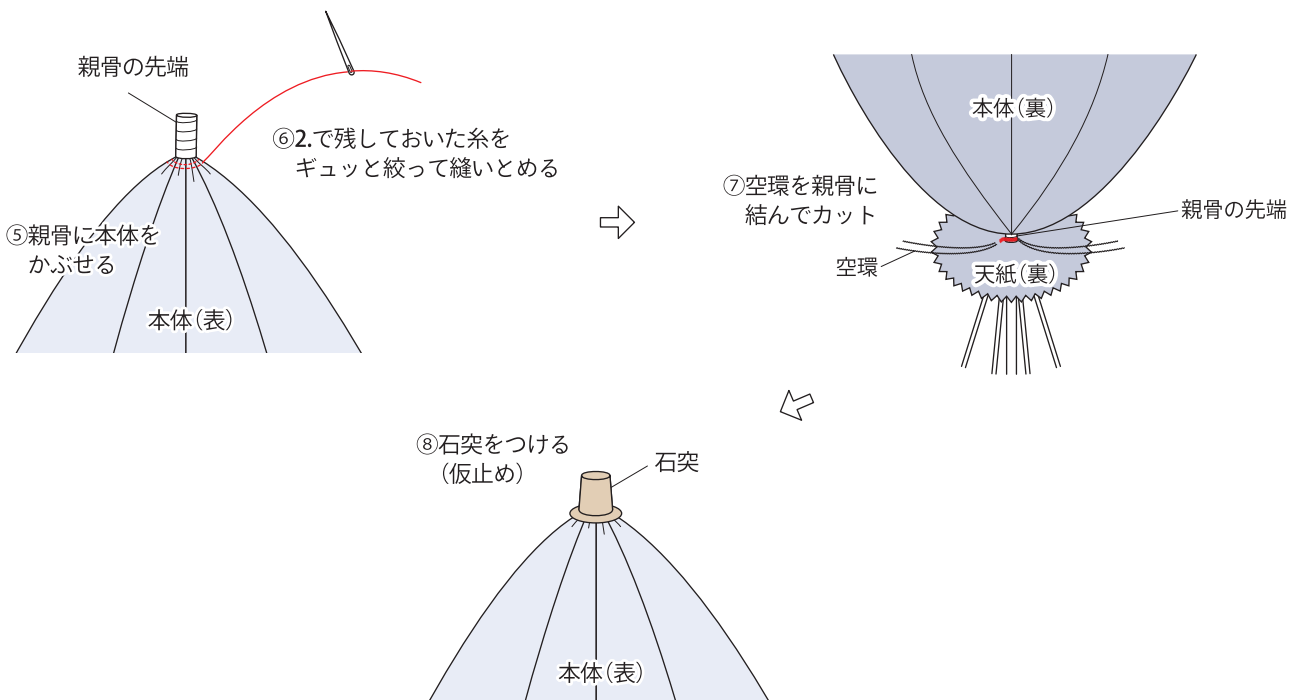


6. 天紙と本体をつける

接着芯を貼った天紙をピンキングばさみで丸くカットします。ピンキングばさみがない場合は普通のハサミでも可。中心に0.6cmの穴を開けます。(3回折って先端を0.3cm切り落とします)天紙を親骨に差し込みます。

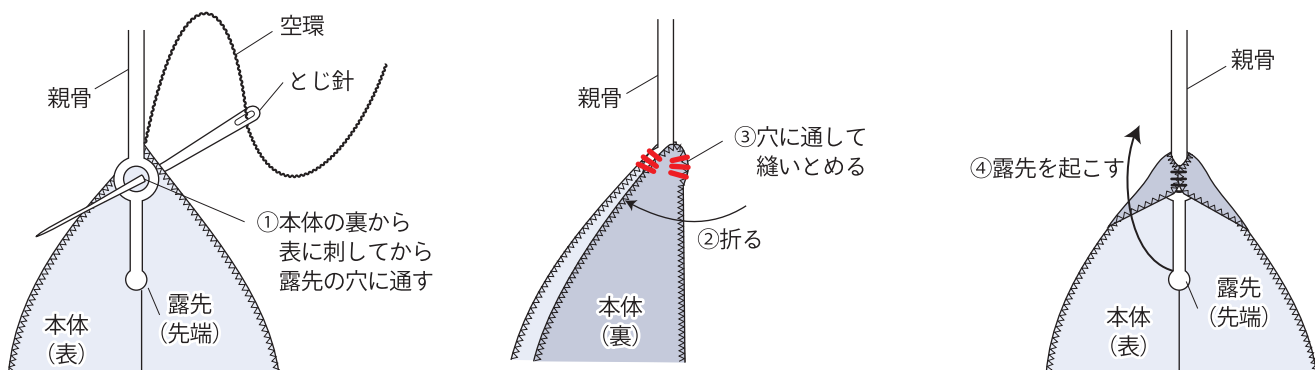


さらに本体をかぶせます。2.で残しておいた糸をギュッと絞って緩まないように縫いとめます。残しておいた空環を本体と天紙の間で親骨の先に巻き付けて結び、余分な空環をカットします。石突をつけておきます。



7.露先を縫いとめる

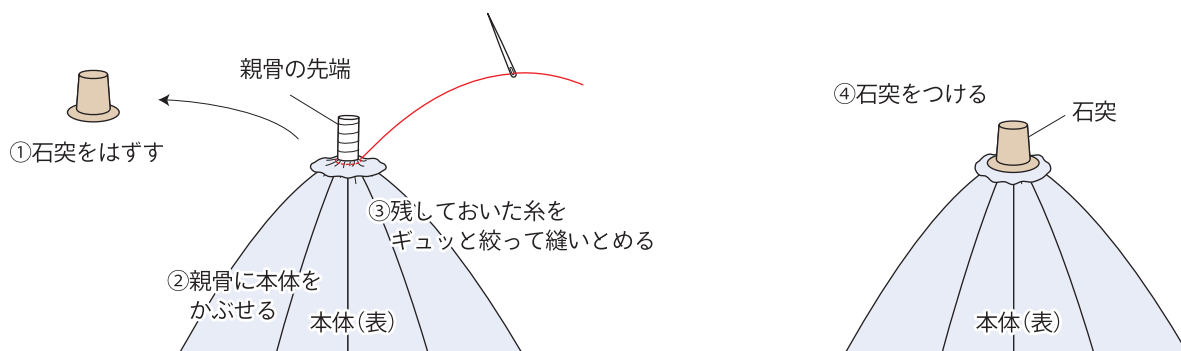
本体の先の空環をとじ針に通します。下図のように本体の先に露先をのせます。本体の裏から表に1針刺してから露先の穴に針を通します。露先を包むように本体を折ります。露先の穴を通るように2〜3回縫いとめます。本体を広げて露先を起こします。残り7か所も同じようにします。



※残り7か所も同じようにします。

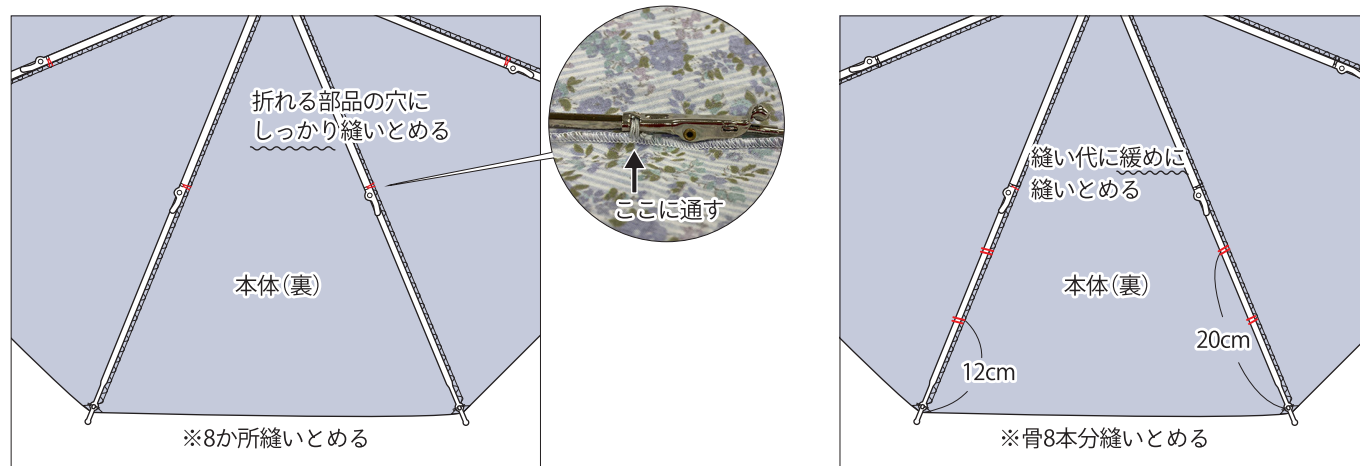
8.菊座をつける

石突をはずします。このとき本体が緩んでいたら縫いとめます。菊座をかぶせます。糸を引いて玉止めします。石突をつけます。



9.仕上げ

傘を開きます。親骨の折れる部品の穴と本体の縫い代をしっかりと縫いとめます。8か所縫いとめます。さらに露先から12cmと20cm中に入ったところの親骨を本体の縫い代に2回まわして緩めに縫いとめます。残りの骨も同じように縫いとめます。

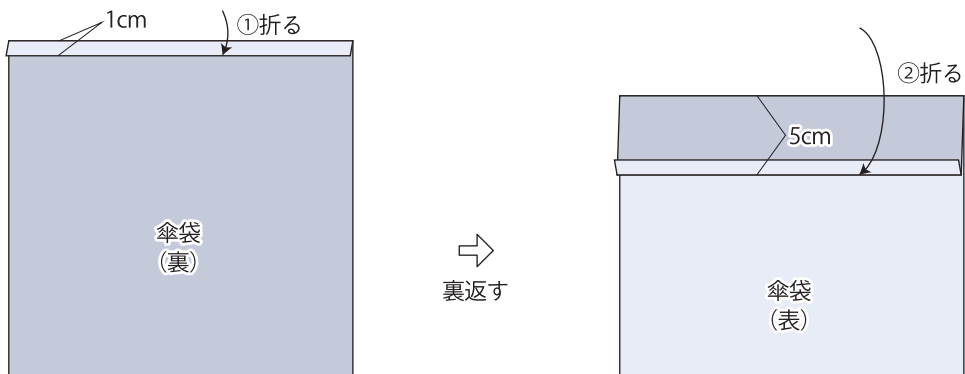


※傘を開いて机の上において作業すると縫いやすい

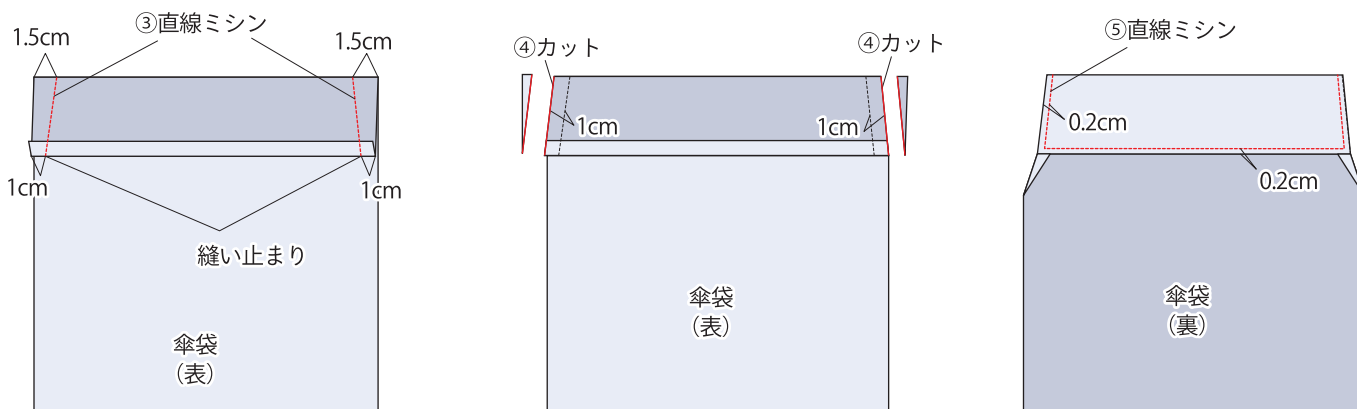
【傘袋の作り方】

1.見返しを縫う ※直線ミシン使用

傘袋の口を下図のように裏側に1cm→表側に5cm折ります。



見返しの脇を図のように縫い止まりまで縫います。縫い代を1cm残してカットします。
見返しを表に戻します。縫い代は斜めに折ります。見返しの端にステッチをかけます。



2.脇線と底を縫う

標準巻きロック (変形でも可)	差動N	かがり幅M	送り目0.75
-----------------	-----	-------	---------

中表に半分に折ります。底と脇を縫い止まりまで縫います。縫い代に巻きロック (標準又は変形) をかけます。

